

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市原町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 58,142人(前年度比 104.4%) うち のびすく宮城野利用者 30,838人 (内訳 ひろば利用者29,035人、託児利用者1,803人) ※視察等の来館者 340人 平成29年度 55,715人 平成28年度 55,344人 平成27年度 55,958人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 指定管理者に支払った費用 59,103千円 (49,683千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 使用料収入 4,349千円 (4,234千円) その他収入 66千円 (96千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域運営懇談会(児童館・のびすく宮城野)、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	複合施設、区役所の隣接という地域特性を活かし、関係機関・施設・団体等と連携しながら児童館・のびすくの運営を行い、児童の健全育成や子育て家庭支援の拠点として、双方の事業の充実を図っている。児童クラブにおける新たなサテライト室に関しては、利用者への丁寧な説明や行事の工夫等により、円滑な運営が行われている。	23/23

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>のびすく併設で多世代が交流する児童館として、安心安全を基本に、利用しやすさに拘った環境作りと活動の充実に努め、児童の満足度を高める行事や遊びの工夫、中高生のニーズを捉えた企画、部活動の参画や地域参加促進に繋げる取組みを積極的に行った。児童クラブは、サテライト室と2か所での開設となり、受け入れにあたり保護者へ丁寧に説明し登録の振り分けを行ったことで、スムーズな開設運営に繋がった。</p> <p>館独自の取組み「飛び出せ児童館」は、地域民生委員をはじめとするグランパ・グランマボランティアに協力いただき、公共施設に留まらず自衛隊施設やJR東日本新幹線総合車両センター等、館外活動の幅を広げ、様々な社会経験・世代間交流の機会として児童、保護者の満足度も高く、引き続き児童の「やりたい」を叶える取組みとして続けていきたい事業の一つとなった。</p> <p>のびすくは、地域子育て支援拠点として利用者支援事業がスタートし、子育て家庭の様々なニーズや困難に対応するため個々の生活背景の理解と信頼関係の構築に努めながら、親子の成長を見守る環境作りと体制作り、関係機関との連携に努め、職員で共有して相談事業に取り組んだ。また、子育て前の妊娠期から母親が安定した気持ちで産み子育てができ、出産後も継続して子育て支援拠点を利用できるよう、切れ目のない継続した事業企画にも取り組んだ。</p> <p>更に、視覚障害を持つ保護者等の利用に伴い、各部屋に点字の案内表示をつけ点字案内リーフレットを作成、点字絵本を増やす等、どなたでも楽しく過ごせる施設環境に努めた。一時預かりは、低年齢児やリピーターの利用が多く、中でも配慮や個別対応が必要な家庭は職員間で情報共有し体制を整え、支援が必要な場合は関係機関と連携し対応を行った。</p> <p>児童館・のびすく双方において、地域や関係機関との協力関係が構築できていることで、充実した運営に繋がったと感じている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>職員の接遇向上や利用者への情報提供の改善に継続して取り組みながら、新たに点字表示を設けるなど、多様な利用者が安全・快適に利用できるよう努めている。学校、併設施設を含めた関係機関、地域の諸団体等と、様々な面で連携がなされており、各団体や地域の人材の協力を得ながら、各種事業を実施している。</p> <p>児童の健全育成に関しては、高学年児童の主体性の向上や中高生の来館促進に向けた行事の企画運営に取り組んでいる。また、児童クラブにおいては多様な体験の機会として「飛び出せ児童館」を実施し、その充実に取り組んでいるほか、サテライト室について環境面の配慮や行事の工夫等により適切な運営を行っている。</p> <p>のびすく宮城野としても、看護師等による相談事業を継続して行ったことに加え、平成30年度より開始した委託事業である子育て支援専門相談事業と連携し、相談機能を充実させたことで、子育て家庭の不安や負担の軽減に大きく貢献している。また、地域の関係機関等と連携し、世代間交流ができるイベントの開催や支援の必要な子育て家庭の対応を行うなど、児童館の特性を生かした事業運営に努めていることも評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室